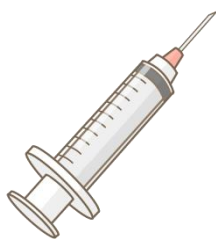


PET検査とは？

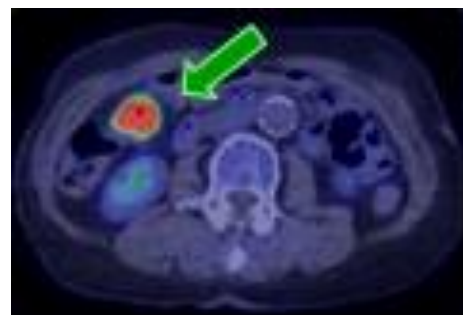
PET検査では、FDGというブドウ糖に微量の放射線放出物質を結合させた専用の薬剤を体内に注射します。多くのがん細胞は、正常細胞より3～8倍も多くブドウ糖を取り込みます。そのため、FDGががん細胞に多く集まり、その様子をPET装置で画像化することによりがんの早期発見が可能となります。



①検査薬を注入



②PET/CTで撮影
＊ 注射約60分後撮影



③がん細胞が写ります
＊ 赤い部分は大腸がん

PET検診のポイント

1. 一度でほぼ全身のがん検査が可能

約30分程度で頸部から骨盤部までのほぼ全身のがん検査が可能です。

2. がん細胞の性質を利用した早期発見

従来のレントゲン（X線）やCT、MRIなどの検査は形からがんを見つけますが、PET検査はブドウ糖を多く取り込むがん細胞の性質を利用し早期発見を可能とします。

＊ 胃や肝臓、腎臓など一部苦手とする部位が存在します。

3. 身体負担が少ない

30分程度の間、着衣のまま検査装置のベッドで安静にいただくだけです。また、検査で使用するお薬も被ばくや体への悪影響はほとんどなく、翌日にはほとんど体内に残りません。

こんな方におすすめです

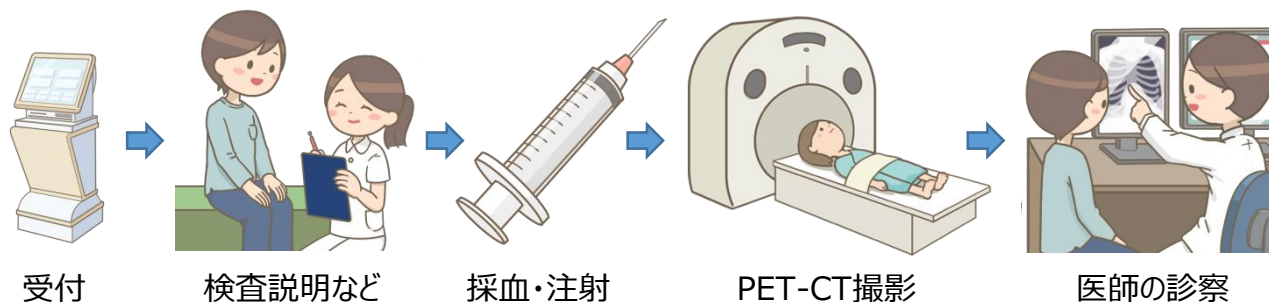
・ 中・高年（特に50歳以上）の方

ただし、遺伝的に高い発がんリスクを有する方はこの限りではありません。

・ ハイリスクな方

がんの家族歴、喫煙などの危険因子を有するハイリスクな方に重点的にお勧めします。

検査当日の流れ



受付後RI検査室へお越しください。医師の診察終了後、会計しご帰宅となります。

PET検査は診察まで含めると3時間から4時間前後で終了します。

注意事項

- ・PET検査の**6時間前から絶食**が必要です。水分制限は**水のみ飲水可能**です。
- ・検査前日のお酒はお控えください。過度の運動もしないようにしてください。
- ・人間ドック受診後、1週間以降の検査となります。
- ・ペースメーカーを装着しておられる方、体内に人工物がある方は、PET-CT検査の障害になる可能性がありますので、お申し出ください。
- ・糖尿病の方は、当日の朝からインスリン注射や糖尿病薬の内服をしないでください。
- ・妊婦や妊娠の可能性のある方、授乳中の方は検査を受けることができません。

検査料金・お申込み先

検査料金

▶88,000円（税込）

検査項目

PET検査、腫瘍マーカー

お申し込み先

帯広厚生病院 健康推進課（平日/8:30～17:00）
TEL:0155-65-0133

ご注意ください

PET検査には、とても寿命の短い特殊な薬剤を使用しているため、下記の理由で検査が行えない場合、薬剤費45,200円を頂くことがあります。

- ① 検査前日昼12時以降の急なキャンセル
- ② 予約時間に大幅に遅れた場合
- ③ 絶食・飲水制限が守られていない場合

PET検診の流れ

検査前日

お酒、過度の運動はお控えください

受付

外来受付後、17番（RI室）へお越しください

更衣

検査着に着替えていただきます

検査説明・問診・血糖検査

検査説明と問診の確認、血糖検査を行います

採血・注射

採血(腫瘍マーカー)後、検査薬剤を注射します

待機室にて安静 約45分

薬剤が全身にいきわたるまで、約45分安静にします

排尿

検査前に排尿していただきます

PET-CT検査 約30分

PET-CTの撮影をします

追加の撮影がある場合

リラックスタイム 約30分

しばらくお休みいただきます

排尿

検査前に排尿していただきます

PET-CT検査 約10分

追加の撮影をします

3階 健診センターにて

結果説明

医師より検診結果を説明いたします

会計

検査料金のお支払いをお願いします

帰宅

お疲れ様でした

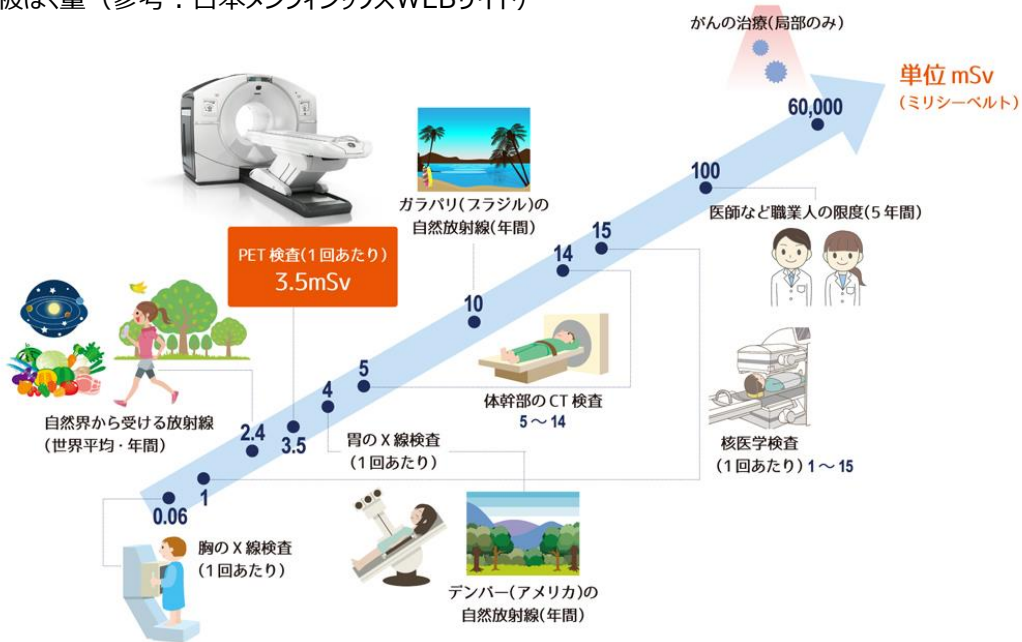
Q & A

PET検診に関する、
よくあるご質問についてお答えいたします。

Q1. PET検査による被ばく量・身体への影響はありますか？

A. PET検査での被ばく線量は約3.5mSv（ミリシーベルト）程度であり、PET/CT検査の場合であっても、約8.5mSv～18mSv程度の被ばく線量です。身体に重大な影響を及ぼす被ばく量ではありませんので、安心してご受診ください。

■放射線被ばく量（参考：日本メジフィジックスWEBサイト）



Q2. 検査には痛みや不快感を伴いますか？

A. 検査薬剤を静脈注射する際の痛みはありますが、あとは検査着を着用して機器の上に横になるだけですので、検査自体に痛みや不快感はありません。

Q3. なぜ検査前に食事をしてはいけないの？

A. PET検査には、ブドウ糖をベースとしたFDGという薬剤を用いています。この薬剤は体内でブドウ糖と同様の代謝をするため、食事後の血糖の高い状態では、目的の細胞に薬剤が取り込まれず、診断能が低下します。同様の理由で、ジュースや飴などの糖分を含む食べ物・飲み物も禁止しております。水・お茶は問題ありません。来院時刻の6時間前から絶食してください。前日までのお食事は通常どおりで構いません。

Q4.なぜ検査の前日から過度の運動をひかえるの？

A. FDGを注射したあとはもちろん、前日の激しい運動でも、筋肉は疲労回復のためにブドウ糖代謝が盛んになっており、FDGが集まります。すると正常な部位にもFDGが集まり、診断しにくい画像になるため、過度の運動は控えていただくようお願い致します。日常生活での歩行や階段を登ったりは問題ありません。

Q5.なぜ人間ドック受診後 1 週間以降の検査となるのですか？

A. 腸に残ったバリウムによりきれいな画像を撮影できない場合がありますので、バリウム検査から 1 週間以上の期間を空けていただくようお願い致します。

Q6.PET検診ですべてのがんがみつかりますか？

A. PETは多くのがんに有効で早期のがんを見つけることも多いのですが、残念ながら不得意なものもあります。FDGを取り込まないがんもいくつかあり、甲状腺がん・前立腺がん・肝がん・胃がんの一部は見つけにくいがんとされております。また、使用する薬剤は腎臓から尿として排泄されるため、腎臓や膀胱のがんも見つけにくいがんとなっております。そのため、当院のPET検診では、できるだけ見逃しを少なくするために腫瘍マーカーを組み合わせています。

Q7.検査後、子供や家族と接してもいいのですか？

A. 体から出る放射線は時間と共に急速に少なくなりますので問題ありません。

Q8.妊娠中ですがPET検査をうけられますか？

A. PET/CTの被ばく線量は約8.5～18mSvです。成人では健康に問題が無い線量ですが、胎児や乳幼児などに対する影響は現在のところ不明です。当院では可能な限り被ばく線量を下げる原則(ALARA)から、妊婦や妊娠の可能性のある方のPET検診をお断りしております。